

令和4年3月16日
総合政策局公共事業企画調整課
水管理・国土保全局河川計画課
水管理・国土保全局治水課

河川機械設備革新的技術実証事業の実施市区町村を決定 ～マスプロダクツ型排水ポンプ設備現場実証～

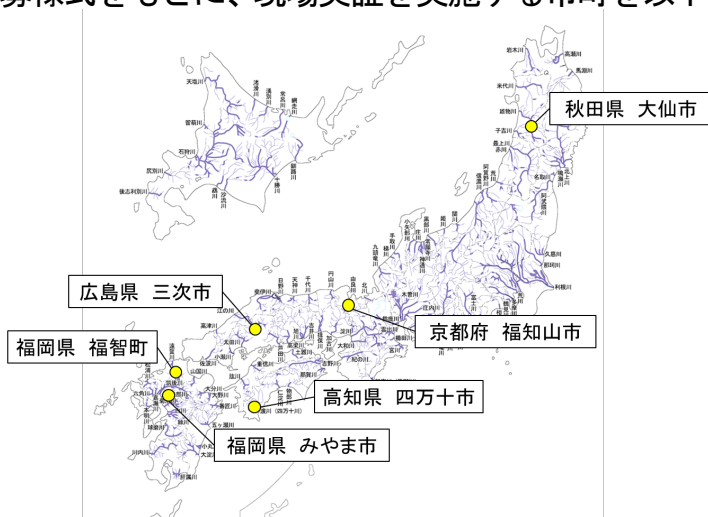
河川機械設備革新的技術実証事業は、マスプロダクツ型排水ポンプ設備の社会実装に向け、市区町村の協力を得ながら、出水時に稼働させ、耐久性、操作性、現場適用性、維持管理性などの検証を目的に行うものであり、現場実証に協力可能な市区町村の公募を行い、実施市町（6箇所）を決定しました。

近年、日本各地で大規模な内水氾濫が頻発しており、排水ポンプによる迅速な内水被害対策が求められているとともに、今後老朽化した排水機場の急増に伴い、一斉に排水ポンプの更新が必要となる状況です。そのため、国土交通省では、自動車業界とポンプ業界の異業種連携により、経済性・操作性・維持管理性に優れた量産品の車両用エンジン等を採用する「マスプロダクツ型排水ポンプ設備」の開発を進めており、今般、社会実装に向けた現場実証に協力可能な市区町村の公募を行いました。

令和3年12月16日（木）から令和4年1月21日（金）での期間で河川機械設備革新的技術実証事業に関する公募を行ったところ、10市町13か所からの応募がありましたので、各自治体から提出された応募様式をもとに、現場実証を実施する市町を以下のとおり選定しました。

○選定市町

- ① 秋田県 大仙市
- ② 京都府 福知山市
- ③ 広島県 三次市
- ④ 高知県 四万十市
- ⑤ 福岡県 みやま市
- ⑥ 福岡県 福智町



【問い合わせ先】 総合政策局 公共事業企画調整課
企画専門官 菊田（内線：24912）
計画係長 鶴岡（内線：24934）
代表：03(5253)8111 直通：03(5253)8285 FAX：03(5253)1556

マスプロダクツ型排水ポンプ これまでの経緯



アイデア
検討

R2. 8月下旬～9月上旬

- アイデアの実現性を評価
(自動車及びポンプメーカーにヒアリング)

R2. 10月下旬～12月上旬

- マスプロポンプ研究会を設置し、検討実施

R3. 1月中旬～3月中旬

- 公募を行い、自動車3社、ポンプ2社を選定

R3. 4. 19

- 基本協定締結

R3. 12. 16～R4. 1. 21

- 現場実証の公募

R4. 1. 31～R4. 2. 18

- 土木研究所での実証試験の実施

R4. 3. 10

- 現場実証市区町村の決定



マスプロダクツ型排水ポンプ実証試験の共同実施に関する基本協定



土木研究所での実証試験